

啓翁桜だより 第1号

令和8年
4月6日

JA さがえ西村山
西村山農業技術普及課

満開期が早い予報です。生育に合わせて、遅れずに幼果菌核病の適期防除を行いましょう！

<今後の管理>

1 幼果菌核病の防除

- ・満開期、葉の展葉始期頃に防除しましょう。

作物名	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
樹木類	トップジンM水和剤	1000 ~1500倍	発病初期	5回以内
さくら	サンリット水和剤	2000倍	展葉始期 ~展葉期	3回以内

<薬剤散布時の注意事項>

- ①昨年幼果菌核病の発病がみられた圃場は1回目の散布1週間後に2回目の散布を行う。
- ②霧状になるノズルを使用し、樹にまんべんなく散布する。樹高が高いものは、先端部に薬液がかかりにくいので注意する。
- ③下枝にも発病するので、樹全体に散布する。

2 施肥

- ・今年収穫を予定している圃場では、窒素成分で5kg/10aを目安に、樹勢に応じて施肥を行いましょう。また、植物成長調整剤を用いる圃場では、施肥は控えるようにしましょう。
- ・樹齢が若いなど、樹勢が強すぎる場合は、春の施肥を控え、8~9月の生育を見て追肥で調整しましょう。

☆農薬は使用前にラベルの内容を確認し、適正に使用しましょう！

☆声をかけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！